

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	高級レストラン （専務）	販売量の動き	・ 来客数、売上ともに大幅に良くなっている。九州新幹線の影響で、今年の夏休みまでは上向きようである。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・ 商店街にアーケードがないため、雨が降ったら客数は減るが、天気の良い日は客が多い。特に周辺のデパートで売出があるときは、遠方からも客が来ている。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・ ゴールデンウィーク期間中の来客数は増えたが、その後はかなり落ち込んでいる。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・ 九州新幹線開業による観光客の増加等、近年にないにぎわいを見た。特に飲食関係や土産品を扱う店舗が混雑した。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	単価の動き	・ ばら売りの高級果物、特に200円前後のものがコンスタントに動くようになった。去年末に比べるとギフト商材の動きも良くなった。
		自動車備品販売 店（従業員）	来客数の動き	・ 今月に入り、客数が前年並みに戻っている。
		その他専門店 〔ガソリンスタ ンド〕（統括）	販売量の動き	・ ガソリンの仕入れ値は値上がり傾向にあるが、小売価格に反映しても、需要は昨年並みで変わらない。
		一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・ 7周年記念イベントの広告を出したところ、反響が大きかった。しっかりとした商品や、客から見てお値うちのものであれば反響はある。
		一般レストラン （スタッフ）	来客数の動き	・ 連休は県外客も多く、客入りも良かった。前年同月に比べて客単価も少し良くなった。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・ 法人による一般宴会等は、件数、単価ともに依然として低迷しているものの、ごくわずかではあるが動きが出始めてきた。
		都市型ホテル （副支配人）	販売量の動き	・ 団体客の動きは今ひとつだが、個人客の動きが活発である。ただし単価はまだまだ低い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・ グラバー園への観光バスの出入りの状況や、入場者の様子からは、いくらか活発になっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・ 客の話では、仕事が切れ間なく入り、忙しくなったという話であった。また、ゴルフ等の接待が今月は多くなっている。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・ 販売量が上向いていることに加え、入場者数が安定してきた。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・ 今の時期は、本来ならば客数も客単価も上がるが、天候不順等で3か月前とほとんど動きが変わらない。
		商店街（代表 者）	お客様の様子	・ 物販に関しては必要な物だけを買う、外食では安いレストランを選ぶ、という傾向にある。高級志向は一部の人たちだけで、多くはこれから緊縮財政である。
		商店街（組合職 員）	来客数の動き	・ 大型商業施設がオープンして半年たつが、周辺の通行量は増加しているものの、隣接の商店街の通行量は減少している。期待された回遊性が望めない。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・ 客の回遊性がなくなった。また、当商店街ではセール事業を行っていたが、今年の4月をもって破たんした。商店街の魅力がなくなり、客の購買、来客が減少した。
		一般小売店〔鮮 魚〕（店員）	来客数の動き	・ お客様の来店頻度が、2日に1回から3～4日に1回と下がっている。
		一般小売店 〔茶〕（店長）	来客数の動き	・ 来客数が激減した。1人当たりの単価も減少している。
百貨店（営業担 当）		単価の動き	・ 新規オープンのブランドショップを除く買上単価は前年割れであり、各月と同水準で推移している。一方、ブランドショップの売上は好調に推移しており、購買の二極化が顕著となっている。入店客数は九州新幹線の影響で増加し、特産品も好調である。	
百貨店（営業担 当）		お客様の様子	・ 店頭に見える客の買上額は、前年を下回ることはなくなってきた。	
百貨店（販売促 進担当）		販売量の動き	・ 入店客数は前年並みだが、売上が前年を大幅に下回っている。	
百貨店（総務担 当）		お客様の様子	・ 客が必要以上の買物を控えている。	

スーパー（店長）	単価の動き	・客数は前年比で2けた程度伸びているが、販売点数が大幅に下落している。必要な物は買うが、不必要な物は一切買わないという傾向がより強くなっている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・総額表示の問題は少しずつ薄らいできた。販促強化のときは売上がそこそこ取れるが、ない時は厳しい。衣料品は、父の日関連が前年比98.5%、トータルでは同82%であり、12月からずっと苦戦している。
スーパー（店長）	お客様の様子	・総額表示導入後、客の買い控えが強くなっており、1か月以上たってもその傾向は変わらない。利益率を落としても、思うように客数が増えない。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客単価は前年より若干上昇気味であるが、買上客数が前年より若干下回っている。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・単価は依然下落しているものの、客数増加と買上点数維持で売上高自体は大きな変動はない。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・1、2年前まではまとめ買いをする客がいたが、最近是非常に少なくなってきた。非常に厳しい状態が続いている。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・今月前半の天候不順が響き、客数、客単価ともに前年割れ傾向にある。また、新規の酒類免許取得店舗と競合する店舗に関しては、酒類売上の下落が本格化し、客単価が大幅に減少している。
衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・いくつかの店舗を経営しているが、売上が非常に悪い店舗と、良くなっている店舗がある。悪くなっている店舗はキャラクター性がはっきりしているワンブランドショップであり、飽きられている可能性もある。良くなっている店舗はセレクトショップで、客の様子に対応できるという利点がある。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・ヤングの婦人物の売上が前年比増となっているが、ミセスの高級品が前年割れしている。宝石、呉服は前年並みで推移している。
家電量販店（経営者）	販売量の動き	・薄型テレビ等の高額商品が少しずつ売れ出したものの、全体の売上が伸びない。
家電量販店（店長）	単価の動き	・販売する商品の単価、及び買上げの客単価が前年を大きく割り込んでいる。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・3～4月の広告を集中的に入れて売上を確保してきたが、その反動と商品単価の下落で、全体的に客数、単価いずれも落ちている。
家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・薄型テレビ関連、デジタルカメラ等がやや売れている。一般家電品、冷蔵庫、洗濯機、エアコンが低調である。全体的にはあまり良くない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・客の買い方は慎重であり、購入を決めるまでに時間がかかる。昔は春先になると新卒の方が車を買いに来ていたが、今は慎重になっている。
乗用車販売店（経理担当）	お客様の様子	・客が契約に至るまでに、かなり時間がかかる。
乗用車販売店（管理担当）	お客様の様子	・商号変更して5月からやっているが、来客数、新車販売台数は少しは伸びたものの、単価が下がり、客の考え方も以前とそう変わらない。安い車はまずまず売れるが、高額車は手控えられる。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月はゴールデンウィークもあり、客数が思った以上に伸びなかった。また、来客数が多い日と少ない日との差が激しく、トータルではあまりいい月でなかった。
スナック（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークにより営業日数が少なく、またこの期間に客がお金を使ったため節約気味であり、来客数が減少した。
旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・海外旅行は、SARSの影響を受けていた昨年よりも回復しているが、2002年の水準には達していない。
タクシー運転手	お客様の様子	・上旬は人の動きも自家用が多く、タクシーの量も少なかったが、中旬から下旬にかけて県外の人の動きが良く、少し盛り返した。
通信会社（業務担当）	販売量の動き	・今月の売上は、新入学での新規需要があったものの、例月どおり月中から月末にかけて伸び悩み、販売台数も伸びていない。また、機種取替え需要も高値維持での販売が続いていることから、低価格商品の品ぞろえも少なく、昨年より大きく減少している。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・価格よりもサービス内容の充実具合に主眼をおく客が増えてきた。

	観光名所（職員）	来客数の動き	・観光施設の来客数は、3月からの新幹線効果が今月も続き、前年比約20%増であった。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・ゴールデンウィークで住宅展示場への来客数は前年に比べ2割以上増加しているが、客の住宅建築の意欲に関しては、まだまだ回復には時間がかかる。今度の住宅ローン減税の期限延長が発表されてからの、客の動きがまだ見えない。
	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・問い合わせがあるのは安い物件だけで、高級な物件は少ない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来街者がゴールデンウィーク以降悪くなっている。特に郊外店に客足が向き、人が少なくなっている。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・福岡天神地区では、百貨店のリニューアルオープンから約3か月が過ぎ、当初の集客効果は薄れ、消費は落ち着いている。オープンした百貨店以外の売上は減少傾向が続いている。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年比でみると、売上は3か月前はクリアできていたが、今月はやや厳しい数字となっている。前年が春から好調に推移していたため、その反動で苦戦している。ゴールデンウィークの不調が大きく響いている。
	百貨店（業務担当）	来客数の動き	・平日の入店は夕方4時以降が弱く、土日は午前中の立ち上がりが遅い。入店総数も昨年に比べて弱い。
	百貨店（販売促進担当）	競争相手の様子	・福岡の百貨店の売上が落ち込んでいる。自社は新店舗景気により先月まで順調に売上を伸ばしてきたが、今月はやや陰りが見える。他店にその需要が回ったわけでもない。競合店も売上が昨年を下回っている状況である。相変わらずマーケットが上昇気流に乗っていない。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・入店客数はほぼ前年並みであるが、売上が前年比94～95%と若干悪い。競合店も緊急の売出をしている状況である。婦人衣料品や身の回り品、特に靴等でかなりの落ち込みが見受けられる。購買率も若干落ちており、懸念材料となっている。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・依然として客単価の伸びが前年比98%前後と下降気味であり、厳しい状況である。
	スーパー（店長）	単価の動き	・総額表示導入以降、明らかに買上点数が減っている。また300円台以上の商品については、総額表示導入により、前年に比べ売上が大きく減少している。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客は総額表示に対して割高感があるため、食品を中心に税込みで元の価格にしたところ、実質上は値下げをした形になり、売場の単価が総体的に下がった。単価の下落は食料品から衣料品、雑貨関係まで広く行き渡っている。
	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・食品は前年並みに推移しているが、衣料品、住居用品が大幅に減少している。
	スーパー（企画担当）	単価の動き	・4月に改装オープンした店舗の集客力は予想どおり順調なもの、総額表示導入以降、低価格商品への移行や買い控え、価格据置対応等から客単価の低下が起こり、大きく苦戦している。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・総額表示で客が値ごろ感を感じず、来店客数の落ち込みが続いている。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客数、客単価とも前年の同時期に比べて変わっていない。また、キャンペーン等により売上増を図っているが、低単価商品の売上は増加しているが、少し高い商品については手を出さない。
	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・3か月前と比べるとパン関係は3%減、弁当関係は4%増であるが、今月に関してはパンが前年比5%減、弁当は同8%減という状況であり、若干悪くなっている。
	衣料品専門店（店員）	単価の動き	・以前は広告でセール品を出すと、セール品とともに定価品も一緒に売れていたが、近頃のお客様は、広告の品だけを買うケースが多く、定価品も合わせて検討する様子はない。単品買いが多く、客単価が4,500円から3,500円に減少した。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間中の予約は、国内、海外ともに順調に集客することができたが、後半は苦戦した。	

	悪く なっている	百貨店（営業企 画担当）	来客数の動き	・昨年9月の量販店オープンに続き、アウトレット モール、福岡市の百貨店等がオープンし、環境が著し く悪化した。4月、5月とも前年比90%程度と低迷が 続いている。
		衣料品専門店 （店長）	販売量の動き	・売上は前年同期比18%減、前々年同期比36%減と減 少する一方である。
		衣料品専門店 （店長）	来客数の動き	・3～4月は少し良くなったかと感じたが、5月に入り、特にゴールデンウィーク後に来店客数がめっきり 減り、売上も上がらない。
企業 動向 関連	良く なっている	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・半導体製造は残業で納期対応をしており、これ以上 続けば新規雇用をしなければならぬ。
		精密機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・受注量や客の受注状況から判断すると、非常に良く なっている。客からは設備投資の要請も既に入っている。
	やや良く なっている	農林水産業（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・前年同月比ではまだ厳しい状況にあるが、2～3月 に比べるとかなり良くなっている。鳥インフルエンザ の影響が落ち着いたことが奏効した。
		食料品製造業 （専務）	受注量や販売量 の動き	・従来より単価の高い物が少し売れている。
		建設業（総務担 当）	取引先の様子	・工事の金額は大きくないが、店舗改装の見積依頼、 発注件数が増えている。
		経営コンサルタ ント	受注量や販売量 の動き	・3月よりビールの売上が、前年同月比90%から 100%近くに回復しており、景気回復の兆しがみえ る。一方発泡酒は若干売上が下がっている。
	変わらない	農林水産業（従 業者）	受注価格や販売 価格の動き	・ピーマンが作付の終期を迎え、価格は収束に向かっ ている。既に大きく採算割れしており、農協系統農家 の6割が経費未払の状態である。
		一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・確かに受注量は増えてきたが、受注単価が上がらな い。受注量がこのまま持続するとは思えない。
		電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連では、特にリードフレーム関連で拡大傾 向にあり、短納期ではあるが受注量の拡大が続いてい る。また機械加工関連でも、全般的に精密機械部品の 動きが拡大している。
		輸送業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・例年どおり連休を過ぎたら荷動きが止まってしまっ た。ただ、まだ一部の衣料品専門店の新店オープンが 続いているため、その分の動きがある。
	経営コンサルタ ント	取引先の様子	・先月、先々月と比べて客の動きはほぼ変わらない。 ただ、九州新幹線開業効果で、飲食店等では鹿児島か らの観光客が若干増加しているという話が聞かれる。 また、観光についても以前より動きが出ている。	
	やや悪く なっている	農林水産業（従 業者）	受注量や販売量 の動き	・国産の食肉の需要は、BSEの影響で輸入が少なく なったことで価格が上がり、思ったほど数量が伸びな い。
		繊維工業（営業 担当）	受注価格や販売 価格の動き	・活況な大型郊外店やブランドショップで扱っている 商品の9割以上は中国製品である。国内の工場では倒 産もみられる。
		窯業・土石製品 製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・例年では、ガラス製品の需要が増える6月ごろから 受注が減少するが、今年度は減少する時期が早まって いる。同業者でもその傾向がある。
		輸送業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・ゴールデンウィーク前は受注は多かったが、それ以 降ぱったりと止まった。例年休み明けもそれなりに荷 物は動くが、今年は全く動かない。
	悪く なっている	輸送用機械器具 製造業（経営 者）	競争相手の様子	・同業他社の受注状況は、受注している船舶の物件 で、鋼材値上がりを見込んだ発注を受けている。競争 入札でもかなり低い利益率で落札している。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 （社員）	周辺企業の様子	・従来派遣は短期が多かったが、この2～3か月は非 常に長期のウェイトが高くなっている。オーダーの約 60%は長期派遣である。
		求人情報誌製作 会社（総務担 当）	求人数の動き	・景況感の好転に伴い、求人情報企業の掲載数が上向 きである。雇用形態としては、パート・アルバイトが 特に増加している。また、自社発行の求人フリーペー パーの掲載企業も大きく伸び続けている。一方正社員 採用は、地方企業も全国、地方の両方で募集できるイ ンターネット媒体が伸びている。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・最近、デジタルカメラ、半導体関連の製造業関係の業務請負に関する新規求人数の増加が引き続き目立っている。建設業では公共工事の請負額が前年度を下回っているが、最近の大型プラント工事や郊外大型商業施設等の建設があるため、新規求人数は前年を2割ほど上回っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業を中心に新規求人が着実に伸びている。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・求人数は前年同月比8%増で推移しており、景気回復基調を裏付けている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・今月に入り派遣依頼数が減ってきた。
	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・大型商業施設のオープンにより、2,000人の新規雇用が発生し、求人市場は活性化した。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・派遣、請負求人、パート求人の割合が高く、労働者の所得の増加が期待できない。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-